

## 前期終業式を行いました

10月9日

まずは、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう、毎日支えていただいたおうちの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

前期の期間は10月11日までなのですが、明日から6年生が修学旅行で2日間留守にするので、今日、終業式を行いました。

1限目のチャイムが鳴る前から、だんだんに子どもたちが2階ホールに集まってきました。校歌の練習が始まりました。毎月の友だち集会でも、全員が集まるまでの時間は6年生が誘ってくれて繰り返し歌っているのですが、どの子どもも思い切って声を出すようになっていきます。今日も、何回か歌いながら前期の終わりのことなどを考えていたのでしょうか、式を始める言葉が出た時には、みんなしんとしてよく集中することができました。

校歌を歌ったあと、科学賞入賞者を表彰し、前期の児童会役員がみんなに伝えたいことを話しました。調べ学習も、児童会の仕事も、時間をかけてしてきただけあって、どの人もしっかり話すことができました。

式の最後にわたしから、今日は今年度のちょうど半分を終えたところで、自分の学習や運動や生活を途中で振り返ってみる大事な日なのだと話しました。学校教育目標としてめざしている「わかった」「できた」を、自分が実感したときのことを思い出して、努力したことや工夫したことを忘れずにこれからも使っていこうと勧めました。合わせて、難しかったことや苦勞したことはとくに値打ちが高いので、自分で感じるようになってほしいと伝えて終わりました。

通知表の「あゆみ」を、6年生は本日、1～5年生は11日に持ち帰ります。まずは子どもたちがよかったと思っているところ、次に目標にしようとしているところなど聞いてやって下さい。おうちの方の率直な気持ちを言ってもらえるのも大事だと思います。おうちの人と話しながら、子どもたちはさらに考えると思います。小さなことでも、実際にしたことやこれから何をするとよいかなど具体的に話し合ってもらくと有難いです。

### 前期児童会役員

#### 6年

- ・大きな声で挨拶するとすっきりした。
- ・笑顔で返してくれるのが嬉しかった。
- ・自分の声を大きくすることができた。



#### 5年

- ・挨拶を返してくれるのが気持ちよかった。
- ・大きな声で挨拶すると楽しくなった。